

【奈良県】【奈良労働局・ハローワーク】 奈良県と奈良労働局が「シャープ関係離職者等支援本部」を設置し、 離職者への再就職支援、生活支援等を実施

【目的】

シャープ株式会社の希望退職を受け、奈良県と連携して情報の共有化とともに万全の対策を図る。

これまで、県と労働局が連携して「**シャープ関係離職者等支援本部会議**(※)」を開催し、再就職支援の現状確認と今後取り組む対策等の検討を行った。

※ 構成員：奈良県、奈良労働局、ハローワーク、奈良市、天理市、大和郡山市、葛城市

【実施概要】

- ① 県内全ハローワーク（5箇所）に**特別相談窓口**を設置。在職中からの相談にも対応した再就職支援
- ② 県内全ハローワークと県を含む関係自治体及び地域の経済団体が連携して、「**大量離職地域支援対策会議**」を設置し、**地域ごとでの**シャープ関係離職者の早期再就職に向けた支援体制を構築
- ③ 採用意向企業の情報を収集し、ハローワーク及び奈良県県内就労あっせん・起業支援センター等が事業所訪問による**求人開拓を実施**
- ④ 経済4団体に対して、支援本部長（副知事・労働局長）による**正社員求人確保要請**を実施
- ⑤ その他、**退職者説明会**、**企業説明会**、**就職面接会**を国と県で連携して実施

【役割分担】

【奈良県】

- ◆ 県内就労あっせん・起業支援センターにおける職業相談、職業紹介及び求職者と県内企業との交流会
- ◆ しごとセンターにおける職業相談

【ハローワーク】

- ◆ 全所に特別相談窓口の設置
- ◆ 大量離職地域支援対策会議
- ◆ 合同就職面接会
- ◆ 集団での退職者説明会

【効果】

県内企業と求職者との交流会（H27.9.29）参加企業等14社・1団体 参加求職者53人
合同就職面接会（H27.10.2） 参加企業42社 参加求職者313人



＜奈良県コメント＞

県内に3事業所を有する主要メーカーでの大量希望退職について、早期段階から国の機関と情報共有等の連携ができたことで、迅速な対応ができた。

＜労働局コメント＞

このような対策においては、国と県が課題を共有するとともに、お互いが持つ強みを活かして連携した支援を行っていくことが重要。

また、効果的な就職支援のためには、お互いに企業情報の共有を図ることが重要。なお、支援本部会議は、県と労働局が一体的に再就職支援を実施していることを広く県民に周知することができるといった効果もあった。